



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月12日

上場会社名 株式会社ユーザーローカル 上場取引所 東
コード番号 3984 URL <https://www.userlocal.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 伊藤 将雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 管理部長 (氏名) 岩本 大輔 TEL 050(3204)2167
半期報告書提出予定日 2025年2月12日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	2,193	16.9	1,001	16.8	1,000	16.7	692	16.6
2024年6月期中間期	1,876	19.5	857	28.1	857	29.4	593	29.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	42.91	42.79
2024年6月期中間期	37.06	36.85

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	9,019	7,989	88.6
2024年6月期	8,835	7,724	87.4

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 7,989百万円 2024年6月期 7,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,414	13.0	1,844	6.7	1,844	7.2	1,272	7.3	79.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期中間期	16,212,200株	2024年6月期	16,205,800株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	192,398株	2024年6月期	42,070株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年6月期中間期	16,129,137株	2024年6月期中間期	16,011,251株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2025年2月12日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明会資料については、説明会終了後速やかに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間（2024年7月1日から2024年12月31日）におけるわが国経済は、堅調な企業業績、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が続いておりますが、為替相場の円安等による物価の高騰、さらには米国新政権の動向等、国内外において依然として先行きは不透明な状況にあります。その一方で、AIが社会に与える影響への関心は世界的に高まり続けており、業務効率化等のための「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の推進も引き続き意識されております。これに伴い、当社が提供するビッグデータ・AIを活用したクラウドサービスへのニーズは一層高まっていると認識しております。

このような状況のもと、当社は「ビッグデータ×人工知能で世界を進化させる」という経営理念を掲げ、SaaS形式で提供するマーケティング支援サービス「User Insight」、「Social Insight」、AIを活用した顧客サポート業務の自動化サービス「Support Chatbot」の品質向上及び販売促進に注力してまいりました。

研究開発活動においては、主に①自社AIアルゴリズム拡充、②既存サービスへのAIアルゴリズム実装、③AIサービスの新規開発に重点的に取り組んでまいりました。特に③AIサービスの新規開発では、ChatGPTなどの対話型AI・生成AIとのサービス連携や、ビッグデータ分析やAIの技術を用いてあらゆる課題を解決するための商品の開発を積極的に進めてまいりました。安定的な基幹システムの構築や、AIエンジニア、データサイエンティストの育成にも引き続き注力し、サービス品質のさらなる向上を図っております。

営業活動においては、サービスの販売を行う人員を増員するとともに、営業管理体制やカスタマーサクセス体制の強化を行い、事業拡大に向けた新規取引先の開拓等の販売促進活動に努めてまいりました。

以上の取り組みにより、当中間会計期間において、売上高は堅調に推移し増収を達成いたしました。利益について、本社移転に伴う諸費用の計上により、計画の範囲内で費用が増加しておりますが、これを上回る増収のため、前年同期比で増益となっております。

これらの結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高2,193,254千円（前年同期比16.9%増）、営業利益1,001,311千円（前年同期比16.8%増）、経常利益1,000,673千円（前年同期比16.7%増）、中間純利益692,084千円（前年同期比16.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べて184,453千円増加し、9,019,646千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(前事業年度末比164,241千円の増加)、前払費用の減少(前事業年度末比50,390千円の減少)によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べて80,418千円減少し、1,029,924千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少(前事業年度末比45,376千円の減少)、前受金の減少(前事業年度末比26,579千円の減少)によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて264,872千円増加し、7,989,722千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加(前事業年度末比562,774千円の増加)、自己株式の増加(前事業年度末比299,981千円の増加)によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて164,241千円増加し7,840,822千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは711,295千円の収入（前年同期は644,250千円の収入）となりました。これは主に、税引前中間純利益1,000,673千円、法人税等の支払いによる支出375,763千円、株式報酬費用の計上98,285千円、前受金の減少額26,579千円、売上債権の増加額16,616千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは118,427千円の支出（前年同期は4,464千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出122,198千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは428,626千円の支出（前年同期は50,231千円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出301,781千円、配当金の支払額128,924千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の業績予想につきましては、2024年8月8日に公表いたしました「2024年6月期 決算短信」の内容に変更はございません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,676,580	7,840,822
売掛金	251,762	268,378
前払費用	218,753	168,362
その他	64,793	53,070
貸倒引当金	△1,772	△2,020
流動資産合計	8,210,117	8,328,614
固定資産		
有形固定資産	40,168	149,787
投資その他の資産	584,906	541,245
固定資産合計	625,075	691,032
資産合計	8,835,192	9,019,646
負債の部		
流動負債		
未払金	137,212	168,070
未払法人税等	399,718	354,341
前受金	433,273	406,693
その他	140,139	100,818
流動負債合計	1,110,342	1,029,924
負債合計	1,110,342	1,029,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,212,126	1,213,166
資本剰余金	1,386,007	1,387,047
利益剰余金	5,179,057	5,741,831
自己株式	△52,340	△352,322
株主資本合計	7,724,850	7,989,722
純資産合計	7,724,850	7,989,722
負債純資産合計	8,835,192	9,019,646

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,876,176	2,193,254
売上原価	158,163	207,801
売上総利益	1,718,013	1,985,453
販売費及び一般管理費	860,615	984,141
営業利益	857,397	1,001,311
営業外収益		
受取利息	59	2,188
保険解約益	—	2,214
その他	1	56
営業外収益合計	60	4,458
営業外費用		
株式報酬費用	—	3,199
自己株式取得費用	—	1,799
その他	—	98
営業外費用合計	—	5,096
経常利益	857,458	1,000,673
税引前中間純利益	857,458	1,000,673
法人税、住民税及び事業税	286,875	330,641
法人税等調整額	△22,755	△22,051
法人税等合計	264,120	308,589
中間純利益	593,337	692,084

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	857,458	1,000,673
減価償却費	11,446	12,580
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	247	248
受取利息	△59	△2,188
株式報酬費用	69,529	98,285
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,332	△16,616
前受金の増減額 (△は減少)	△48,037	△26,579
未払金の増減額 (△は減少)	△21,481	30,857
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,614	△23,430
その他	17,596	11,040
小計	837,751	1,084,870
利息の受取額	59	2,188
法人税等の支払額	△193,560	△375,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	644,250	711,295
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,464	△122,198
保険積立金の解約による収入	—	5,103
差入保証金の差入による支出	—	△3,612
差入保証金の回収による収入	—	2,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,464	△118,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13,473	2,080
自己株式の取得による支出	—	△301,781
配当金の支払額	△63,704	△128,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,231	△428,626
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	589,554	164,241
現金及び現金同等物の期首残高	6,366,856	7,676,580
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,956,411	7,840,822

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、データクラウド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。